

# 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和3年3月28日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691400115
法人名	医療法人 浩愛会
事業所名	グループホーム まごころ
所在地	鹿児島県垂水市錦江町1-238 (電話) 0994-32-6676
自己評価作成日	令和3年2月18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和3年3月5日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

基本理念 「まごころ」「寄り添い」「支え合い」を職員で共有し、日々のケアに努めている。入居者様の話を良く聴き、入居者様の感情に触れ、入居者様との関わりの中で、「お互い様」の気持ちを大切にし、入居者様と共に過ごしています。入居者様の言葉に出来ない思いや、伝えられない思いを職員で話し合い、少しでも自己実現に近づける様に職員同士で報告・連絡・相談ができるように心がけています。また、職員のスキルアップを目指し、外部の研修も積極的に参加して、ケア会議で伝達研修も行っています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、海岸沿いの地域に同系列のグループホーム・小規模多機能ホームと隣接している。今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため合同イベントは自粛しているが、利用者間の交流や職員との連携が強くなった。
- ・地域行事等の自粛により、地域との交流は困難な状況であるが、行政の「未来の福祉・介護担い手スタートアップ事業」に講師として協力したり、オレンジカフェの実施について、地域貢献に取り組んでいる。
- ・管理者・職員は利用者の個別性を尊重し、これまでの生活や馴染みの関係を可能な限り継続できるように個別支援に取り組むと共に、自己決定を重んじた支援に努めている。
- ・管理者は、職員が向上心を持って働き続けられるよう、研修受講や資格取得への配慮した取り組みを行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は、日々のケアで方向性が違ったり、迷ったときに振り返る基になることを職員で共有できるように話し合っている	理念を玄関・ホールに掲示しパンフレットにも掲載しており、申し送りやケア会議時に確認し共有化を図っている。職員の作業着にもプリント加工し、意識付けをしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年度は新型コロナウイルス感染予防対策のため地域との交流は自粛中である。民生委員の方が定期的に窓越しではあるが様子を見に来てくれている	自治会に加入しているが、コロナ感染防止の為、地域行事の七夕飾り作りやオレンジカフェの開催時のみの地域交流となっている。民生委員の来訪が定期的であり、窓越しに交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	新型コロナウイルス感染予防対策をしっかりと行い、「令和2年度未来の福祉・介護担い手スタートアップ事業」による地元小学校3年生の授業の中で介護の話、認知症、高齢者、仕事のやりがいについて介護講話の参加を行った		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナウイルス感染予防のため、今年度の会議は、行政のみの参加となっている。事業所の活動内容報告をし積極的に意見や地域の情報を頂いている。	運営推進会議は年3回実施し、不参加の委員へは資料を送付している。事業所のコロナ対策を含めた状況報告と意見交換を実施し、「利用者の日常生活活動の維持・向上に取り組んで欲しい」との要望を受け取組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議時に報告をおこなったり、市の主催する研修会に参加した時など、情報交換し、助言など頂いている	市の担当者とは、書類提出時に窓口に出かけたり電話で相談したり、助言を貰っている。運営推進会議時の意見交換も図っている。市のオンライン研修に参加し情報を得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	法人内に身体拘束委員会があり、委員が会議に参加し他事業所と情報交換できている。言葉の拘束についても、ケア会議で定期的に意見交換し検討している。	法人で指針を作成し、3ヶ月に1回の委員会と年1回の研修を法人で実施し、事業所では具体的な事例での勉強会を実施している。日中、玄関の施錠はせず、言葉の拘束には、「言い換え・ひと呼吸置く・トーンを下げる」等の対応で、拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待を未然に防ぐことが出来るように職員同士で、遠慮せず、正直な気持ちを話せるような事業所づくりを目指している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	事業所内で権利擁護に関する勉強会をおこなっている。権利擁護の指針を理解し、入居者様の権利を阻害しないように取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得  契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	事前に重要事項説明書をもとに説明を行っている。急変時の対応や長期入院時の対応などは家族面会時などで話し、ご理解を図っている		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映  利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者様の日々の関わりの中で、言動など捉えて記録し、ご家族の面会時などで、お伝えし意見を伺い、ケア会議などで情報の共有をし検討している	利用者からは、日常の支援の中で意見や要望を聞いて対応している。家族からは、毎月1回は事業所から家族に電話をして話を聞く機会を設けている。家族からも電話や来訪があり、職員から話しかけ、要望を聞いている。「衣類の調整」等の依頼があり、一緒に行っている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映  代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的に面談を行っており、意見交換を行っている。運営はケア会議で職員間で意見を出し合い、職場環境作りに生かしている	月1回のケア会議時は、ケアに関する提案が多く出され、日常の業務に反映させている。年3回の面談では、研修受講や資格取得の希望を含めて職員の意見を聞き、反映できるよう努めている。	
12		○就業環境の整備  代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	人事考課などを実施し、勤務状態の評価をし、個人面談時に向上心をもてるように配慮しながら本人にも話をしたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の個性や能力・得意とすることを把握し、法人内外の研修計画を立てている。また年度はじめに「目標管理シート」を作成して取り組んでいる</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域で行われる研修会に職員を参加させ、市内の他事業所の職員とも顔見知りの関係ができる時間をつくっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所開始からすぐには、信頼関係を築くことは難しい事を家族に説明し、ご理解・協力をお願いしている。職員にも入居者様の不安な気持ちを傾聴し、寄り添うよう取り組んでいる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	契約時に、家族の今までの経緯や困りごとなど聞くようにしているが、不安な気持ちや思いは変化していくのでその都度話してもらえるような信頼関係の構築を心がけている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の意向を確認しながら、無理のない様にスムーズにサービスが提供出来る様にしている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様を尊重し、職員の事を受け入れてもらえるよう日々努力している。信頼関係のもとにできることは職員と一緒にしてもらい「ありがとう」「助かっています」の気持ちを伝える様にしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	入所されたことで、関係性が薄くならない様に、電話やたよりなどで近況報告し、協力をお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居者様との会話の中から馴染みの人や場所を聞き取り、希望されることを提案し、家族にもご理解をもらい、実現できるように支援している	事業所から家族に電話やホーム便り等で近況報告を行っており、家族には戸外や窓越しの面会・電話等で関係が途切れないよう支援している。自宅訪問や寺参り等の個別支援も行っている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様の関係性を大事にし、職員間で情報共有しながら、席の配置を考えている。気分の変動がみられる時は職員が関わるように心がけている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去時にいままでの関わりに感謝していることを伝えるようにしている。退去されても、関係性を大切にしていきたいことを伝えている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者様との日々の会話の中から希望を把握し、本人本位の考え方をもとに職員間で検討している。家族にも相談し協力をお願いしたりしている	日常の関わりの中で話を聞く時間を作っている。個別ケアや入浴・夜間時に話す事が多い。困難な場合は、家族に思いや意向を尋ね、これまでに築かれている職員との関係性や関わりの中から推測し話し合い、支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報提供書の把握をし、入居者様・家族との関わりの中で知り得た情報も職員間で共有出来る様にケア会議などで話し合っている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居者様一人ひとりの個性を大切にし、日々の関わりの中で「気づいたこと」を共有し、活かせることが出来る様にしている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の要望を中心に考え、家族に確認しながら、職員の意見を参考にし介護計画を作成している。また担当職員も設け、サービス提供確認や評価ができるよう努めている	本人・家族・必要な関係者と話し合い、担当者会議で主治医の意見を入れて、介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月に1回行い、状況に変化があった時はその都度、計画を見直している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や申し送り、連絡ノートを活用し、職員間で情報共有に努め、サービス内容の振り返りや介護計画の見直しに活かしている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人・家族の状況変化に対応できるように、職員間でサービス内容の検討をし、様々な意見をもとに柔軟な支援が出来る様に取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	なじみのスーパーやお寺など定期的に行けるよう支援している。また自宅だけではなく、生まれた地域の把握をし、市報などで地域の情報を伝えるようにしている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前の関係性を大切にし、本人・家族の意向によりかかりつけ医を決めてもらっている。必要に応じて、受診支援もおこなっている	かかりつけ医は本人や家族の希望を大切にしている。協力医の月2～3回の往診を受けており、協力医以外は家族が受診同行している。協力医と緊急時等の協力体制を築いている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護師に些細な事も相談し、助言をもらっている。またかかりつけ病院の看護師との情報交換の窓口になってもらっている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は当該病院の相談員と連絡をとり、情報提供をしたり、状態把握に努めている。本人・家族にも連携していることを伝え、不安な気持ちが軽減出来る様取り組んでいる。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>契約時、リスク説明の中で終末期の要望を確認し事業所での取り組みを説明し、ご理解をもらっている。関わりの中で終末期のあり方についても変化が見られると思うので、柔軟な支援が出来る様にし、チームで取り組めるように情報共有に努めている</p>	<p>入所時に、重度化等の場合の対応について指針で説明し同意書もらっている。状況の変化に応じて段階的に家族の意向を確認し支援している。特別養護老人ホームの選択肢のあることも説明している。看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の対応は定期的に勉強会を開催し、確認している。また年2回の防災訓練時に救命訓練を計画し参加している</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回 避難訓練を行っている。夜間発生時の緊急連絡の訓練は行ってはいるが、人員の少ない時の避難については職員間で検討している。海岸沿いでもある為津波の避難訓練も計画し、避難経路や避難場所までの時間の把握をおこなった</p>	<p>年2回昼間想定 of 避難訓練を、法人内隣接の3事業所合同で実施している。通報訓練や避難時間と避難場所を職員でシュミレーションしている。緊急連絡網や非常ベルの点検もしている。備蓄は、水・米・丼物・缶詰等やカセットコンロを準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様一人ひとりの人格を大切にし、生活歴も様々であることを認識し、理解しながら対応することを心がけている	管理者がテーマに応じて資料を作成し研修会を実施している。一人ひとりが、個別性やこだわりがあることを理解し対応に努めている。排泄や入浴介助時等には、羞恥心やプライバシーに配慮した支援を行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居者様の希望を日々の関わりの中から引き出し、自己決定を促し、実現できるように支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	事業所の1日の流れはあるが、パーソンセンタードケアの履行を念頭に、その方のペースで過ごせるよう職員間で共通の認識を持ち取り組んでいる		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣服は必ず本人に選んでいただいている。整髪もできるだけ自分でしていただくようにしており、家族の協力をもらってなじみの美容室へ行かれたりしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の準備や片づけを入居者様と一緒にこなっている。畑の野菜の収穫から下ごしらえ、調理の手伝いも手伝ってもらったりしており、感謝の気持ちを伝える様にしている</p>	<p>栄養士の献立で職員が調理している。食事が楽しみなものになるよう旬の野菜や好みの食材を使っている。誕生日にはケーキ、行事食の敬老会や正月等はおせちや巻き寿司等、季節感と楽しみを味わってもらえるよう工夫している。利用者も一緒に下ごしらえや準備・片付けを行っている。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事メニューにおいてが、管理栄養士の指導を受け、食事の提供を行っている。1日分の食事・水分摂取量を記録し、少ない方には、飲食物の工夫をしている</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後に口腔ケアを行い、本人が出来る方は自己にておこなってもらい、最後に確認するようにしている</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>介護記録に排泄状況を記録し、パターンを理解する事で、失敗を防ぐことが出来、本人の自信にもつながっている。できるだけトイレで排泄する取り組みをし実行している</p>	<p>排泄チェック表で一人ひとりのパターンを把握し、トイレ誘導している。トイレでの排泄を支援している。リハビリパンツから布パンツと尿取パットに改善した利用者もいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄記録により、排便の状態を把握している。水分量の確認やオリゴ糖を使用したりして早めの対応に努めている。排便困難な方にはかかりつけ医に相談し薬剤を使用し体調管理に努めている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は楽しみの時間になっているため、本人の希望、ペースに合わせて入浴出来る様に支援している。	入浴は週に2～3回を目安にしているが毎日の希望者もあり、柔軟に支援している。必要時は2人介助を実施し、入浴を嫌がる場合も人や時間を変える等、声掛けを工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	睡眠パターンを記録し、睡眠状態を把握できるようにしている。不眠・不穏のある方は無理強いせず本人のペースを大事にすることを心がけている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬管理は事務所でしている。スタッフが複数で確認し、与薬時には本人と確認するよう取り組んでいる。処方内容も確認し、変更時は申し送りノートに記載し情報の共有が出来る様にしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人の意向を大事にし、職員間で情報共有、検討し出来る事を取組んでもらうようにしている。ご本人にあった「役割」が見いだせるように努めている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	新型コロナウイルス感染予防対策をしっかりとし、外出している。屋外の散歩は天候次第で毎日おこなっている。	天候の良い日は、毎日敷地内を散歩している。車で桜や菜の花を見に出かけている。コロナ感染防止の為の対策もしっかりして楽しんでいる。個別支援の外出も行っている。年間計画を立てて初詣・自宅訪問・寺参り等、ドライブ等の外出支援をしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出時に本人が財布から支払できるように支援している。また必要な物や本人の嗜好品など可能な限り一緒に買い物に行くようにしている		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人の希望時は、電話支援している。家族からの郵便の受け渡しも行っている。手紙のやり取りを希望される方はいませんが、声掛けし希望時は支援していきます		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節や天候を考えながら快適な空間づくりを心がけています。またレクリエーションで作成した季節にあった工作を展示し、季節感を感じられる様に工夫している</p>	<p>リビングは天井が高く天窓を利用した換気を行い、匂いに気配りしている。空気清浄機やエアコンで、室温・湿度が適切に保たれている。季節に応じた作品等を飾り、季節を感じられるよう工夫している。和室やソファ等、それぞれの好みの場所でくつろげるよう配慮している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>和室やソファを利用して、気の合う方々で過ごせる時間ができるように配慮している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入所前に本人・家族と相談し、自宅で使用されていた物やこだわりの物など持ってきていただき本人が落ち着いて過ごせるようにしている。また本人が安全に移動できるようにレイアウトも考えている</p>	<p>居室には、ベッド・ダンス・エアコンがあり、寝具はリースである。本人が持参したテレビや衣装ケース・毛布・位牌・遺影・写真等を置き、安心して過ごせる部屋作りをしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりの能力に応じて、居室の工夫をしたりホールの空間を快適で安全な場所になるように工夫している。トイレの場所もわかりやすいように表示している</p>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない